

平成26年度定時総会並びに平成27年度理事会を開催

～平成27年度事業計画・予算案、任期満了に伴う役員改選など承認～

【総会の概要】

去る2月6日(金)、国際ホテル松山において加盟クラブから39名が出席し、(委任状を含め全59クラブが参加)、四国ゴルフ連盟定時総会が開催された。

会議では大亀会長から「四国女子インターは全国に誇れる大会に成長した。今年はジュニアの強化に積極的に取り組みたい。」とのあいさつがあり、議事案件を審議した結果、全ての議案が原案どおり可決承認された。



～承認・議決事項～

- ◆平成26年度事業報告・収支決算
- ◆平成27年度事業計画・収支予算(ジュニア強化事業の大幅増額を含む)
- ◆任期満了に伴う役員人事

【理事会の概要】

上記総会后に理事会を開催

～主な承認・議決事項～(後日文書審議による臨時理事会の追加決定を含む)

◆平成27・28年度会長・常務理事の選出

会 長 大亀孝裕(高原GC)(留任)

常務理事 井関和彦(愛媛GC)、柿谷友造(土佐ユートピアCC)、立石信彦(高松CC)(以上留任)、三谷昭夫(御所CC)(新任)

理 事 青野 正(新居浜CC)、大塚澄男(高松グランドCC)、清水康文(土佐CC)、富田和典(鳴門CC)、三木輝久(琴平CC)
真鍋彦介(エリエールGC)、森澤豊明(錦山CC)、森 惟夫(鮎滝CC)、山中健太郎(新居浜CC)(以上留任)
喜多俊弘(讃岐CC)、檜垣清隆(今治CC)、藤村 浩(徳島GC)(以上新任)

監 事 田中 哲(宇和島CC)、本田典孝(志度CC)(以上留任)

◆各委員会委員長・副委員長・委員の選任

(総務委員会) **委員長** 清水康文(新任)

委 員 秋山達夫(詫間CC)、柿谷友造、後藤義昭(道後GC)、島内保夫(徳島CC)

東川 稔(エリエールGC松山)(以上留任)、堀川昌俊(鮎滝CC)(新任)

(競技委員会) **委員長** 山中健太郎 **副委員長** 能仁 勇(西徳島GC)、真鍋彦介(以上留任)

(HC委員会) **委員長** 真鍋彦介(留任)

副委員長 佐井重久(土佐CC)、永井水澄(愛媛GC)(以上留任)

(競技・HC委員) 岩崎一雄(高松ゴールドCC)、坂本晴美(スカイ・ベイGC)、高橋献樹(サンセットヒルズCC)

武井峰子(こびらレイクサイドGC)、谷口由紀江(鳴門CC)、坪井 優(志度CC)、長尾耿之介(徳島GC)

二宮 薫(今治CC)、前田 理(高知GC)、松岡孝雄(エリエールGC)、森 茂幸(屋島CC)(以上留任)

崎山俊紀(今治CC)、長谷川學(道後GC)、渡部靖彦(松山シーサイドCC)(以上新任)

(ジュニア委員会) **委員長** 山中健太郎 **副委員長** 二宮 薫 **普及部会長** 川西章子(屋島CC)

発掘育成部会長 森 茂幸 **強化部会長** 崎山俊紀(以上新任)

委 員 榮田哲朗(スカイ・ベイGC)、菊池和子(エリエールGC松山)、國澤利久(パシフィックGC)

富田佳子(讃岐CC)、西澤孝幸(四国CC)、福岡浩二(愛媛GC)(以上留任)

神田重廣(高原GC)、作森信一(ロイヤル高松CC)、高橋献樹(サンセットヒルズCC)

三木康彦(レオマ高原GC)、森澤成光(高ゴ連)(以上新任)

◆平成27年度日本ゴルフ協会分科委員会委員候補者の推薦

総務委員会 委員 清水康文(新任)

税対策部会 島内保夫(留任)

規則委員会 委員 山中健太郎(留任)

競技委員会 政策部会 山中健太郎(留任)

男子競技運営部会 坪井 優、能仁 勇(以上留任)

女子競技運営部会 坂本晴美、武井峰子、二宮 薫(以上留任)

ハンディキャップ委員会 副委員長 真鍋彦介(留任)

コースレーティング担当 佐井重久(留任)

競技者育成強化推進本部 普及部会 川西章子(新任)

発掘育成部会 森 茂幸(留任)

第1回ジュニア委員会に会長も同席

今年度予算で目玉事業となったジュニア強化事業。その1年間の事業計画を検討する第1回ジュニア委員会が、3月17日新居浜カントリー倶楽部会議室で開催された。分科委員会に会長が出席するのは極めて稀であり、新しいジュニア委員会に対する期待の大きさを会長自ら姿勢で表わす形となった。

会議では、強化選手の年間研修計画、ジュニア普及事業の具体化など、多彩な意見交換が行われた。特に強化選手の研修では合宿によるラウンド研修も取り入れるなど、技術・マナーの両面で模範となる選手の育成に取り組むことになった。

●男子強化選手

名 前	県名	学 年 (4月進級後)	期数
落合 凌	香川	中3	3
加藤 渉	香川	中3	3
吉本 翔雄	香川	中3	3
中川 聖太	徳島	中3	2
浦 大智	徳島	中3	1
野田倫汰郎	香川	中2	1
香川 凜央	愛媛	中2	1
成松 翔	徳島	中1	2
杉原 光紀	香川	中1	2
香川 大樹	愛媛	中1	2
東 拓未	香川	中1	1
竹内 瑛信	愛媛	中1	1
加藤 将	香川	小6	1
古川惣一朗	徳島	小6	1
山本 悠平	高知	小6	1

●女子強化選手

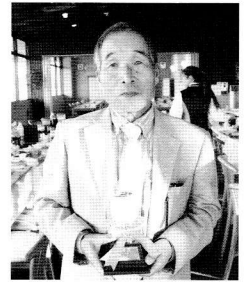
名 前	県名	学 年 (4月進級後)	期数
手束 雅	徳島	中3	3
山本 唯加	高知	中3	3
鴻上みらい	愛媛	中3	3
岡田 美桜	徳島	中3	1
三瀬 舞凜	愛媛	中2	2
石川 夢香	愛媛	中2	1
吉本 早織	香川	中1	1
田村 和	愛媛	中1	1
菅居 優穂	愛媛	中1	1
小林 実夢	香川	中1	1
村上 美空	愛媛	小6	1
島勝ひなた	徳島	小6	1
三瀬 舞愛	愛媛	小6	1
中村 真菜	高知	小6	1

第66回四国グランドシニア会秋季競技 =ロイヤル高松カントリークラブ(10/28)= 親善の部は福崎さん(鮎滝C)、選手権の部は堀川さん(鮎滝C)

四国ゴルフ連盟加盟倶楽部会員の有志(男70歳・女60歳以上、会員数203名)で組織する四国グランドシニア会の第66回秋季ゴルフ競技が、平成26年10月28日、ロイヤル高松カントリークラブで開催された。(参加者は男性69名、女性7名)

アンダーハンディの部で福崎清さんが、選手権の部で堀川昌俊さんが優勝、ともに鮎滝Cのメンバーが大会を制した。

次回は5月12日(火) エリエールゴルフクラブ(香川県)です。



福崎 清さん

第66回四国グランドシニア会秋季競技

(Par72 男子: 6,028yd 女子: 5,269yd)

順位	氏名	所属	NET	GRSS
優勝	福崎 清	鮎滝C	63	77
2	北堀 恵	こんびらLG	63	78
3	続木 康泰	新居浜C	64	77
4	香西 洋一	新琴南G	65	93
5	古川 武	こんびらLG	66	94
6	堀川 昌俊	鮎滝C	66	73
7	大塚 澄男	高松グランドC	67	77
8	森末 元光	こんびらLG	67	87
9	藤田 一義	エリエールG	67	77
10	白井 雄介	志度C	67	90

【選手権の部】

順位	氏名	所属	GRSS
優勝	堀川 昌俊	鮎滝C	73
2	小野 忠夫	こんびらLG	76
3	山田 太郎	ロイヤル高松C	76

【80歳以上ベストグロス】

小野 忠夫	こんびらLG	76
-------	--------	----

【女子ベストグロス】

飯尾 文枝	新居浜C	84
-------	------	----

ギヤラリー席

Tee (ティ) について (その1)

今回は皆さん方、誰でもゴルフをするときには使用するティについて書いてみます。最初はティ・ショットの時にはホール・アウトしたホールの縁の土を少しとってそれを積み上げてその上にボールを置いてショットしたのです。その頃の事を後世の人達はグリーン軽視の時期と言っています。その頃はティ・グランドが無く、ホール・アウトしたホールのすぐ傍で次のショットをさせていたのです。グリーンを大事にするようになってからはティ・グランドも出来ています。次にはホールの縁の土を取る代わりに近くに箱を置いて土を入れていました。私がゴルフを始めた昭和29年頃まではティ・グランドの傍に箱を置き、その中に砂を入れて置いてありました。1920年のアメリカ独立祭の日にサウス・オレンジのウィリアム・ロウエルという老歯科医がニュージャージのゴルフ・コースで砂箱から湿った砂を一握り取り出しおもむろにティを作ったのですが、彼は元来ひどく潔癖で指先を汚れるのを嫌っていたのです。ゴルフを早めに切り上げて帰った彼は独立祭のために飾ってある星条旗の小さな旗竿を見ると、一本引き抜き、旗をはずし竿だけを持って治療室に入り自分の歯科用の道具を取り出すと、その棒切れから一インチ半ほどのベッグ(木釘)を作り出したのです。彼はそんな作業はお手の物で、翌日早速コースに出かけティ・グランドでそのベッグを地に差しその上にボールを置いて打ってみると全く万事OK、彼はすこぶる満足したのです。ところがその発明もなかなか普及せず、他の連中は今まで通りに砂を取っては、手の汚れをズボンで拭いていました。そこでロウエル先生の息子のアーネストに5百本程作らせて一般のゴルファーに配ったのです。しかし人間の習慣は一朝一夕には変えられずあまり反響がなかったのです。二年後、彼がこのベッグの特許申請していたのが認められ、第1493687号で特許が下りたのです。そこで彼はベッグの製造販売を考え、資本金2万5千ドルで会社を造り社長にはドクター・ロウエルがなり、株の51%を持ち、娘婿のウォルター・クープリングが36%、残りは俵のアーネストに与えたのです。これで大量生産を始め、その後一世を風靡したレディ・ティーの誕生を見たのです。

ご存知のように商品の販売には何と言っても宣伝が大事です。その為に彼は沢山のプロ達に頼んで盛んに使用してもらい、それを一般ゴルファーに見せたのです。その頃、世界を巡遊していたウォルター・ヘーゲンと、曲打ちの名人カークウッドに使用させたのが効果を挙げたのです。社長の老歯科医もまた一生懸命に頑張っており、自身が以前にも増してゴルフ場に通い、その都度、自分のところで作ったティの入った箱を人の目に触れるようにティ・グランドに落としていったのです。

(T.K)

わがコースの名物ホール その1

高松カントリー倶楽部

No.15ホールパー4 (BT 327 Y、RT 315 Y)

坂出市の中心にそびえる標高462mの城山(きやま)には、7世紀後半に造られた古代山城(こだいやましろ)の跡と考えられる遺構が今もあちこちに残っています。

瀬戸内海国立公園地域内でもある、その一角に高松カントリー倶楽部の名物ホールがあります。

14番パー3をホールアウトし、下り坂の雑木林をくぐりぬけると、城山に唯一残る高さ約3mほどの石積みの史跡城門が左右に見えてくる。その石積みの城門の中央を通過すると眼下に15番ホールの壮大なパノラマビューが展開する。

瀬戸大橋を眼下に見下ろし、澄んだ日には遠く対岸の本州の山々を望むことができる。

ティーインググラウンドに立ってホールを見下ろしたコースレイアウトはそれはそれは裸婦の横臥した形に似て、グリーンは、さしずめ顔に当たる部分。315 Yの打ち下ろしで距離は短く、ティーショットの落とし個処がポイントであるが、グリーン手前100ヤードのおへそから、凹んだウエスト付近までが狙い処となる。それだけに激しい打球よりも優しいテクニックが必要であり、スライス気味のボールが効果的である。

また、左のバンカーにつかまると第二打でグリーンを狙うのが難しくなる。特にこのホールは、城山特有の風に注意が必要で、ここまでいいペースで来ていながらティーショットのOB連発でスコアを崩したりすることがある。

距離がないだけに、バーディーも出易いがダブルボギー以上のスコアも簡単にたたきホールで挑戦意欲を沸かせる愛称“馬の背”で親しまれている名物ホールの一つである。



わがコースの名物ホール その2

高知ゴルフ倶楽部

アウトコース4番ホール

- 右ドッグレッグのハンディーキャップ1の難ホール

(通称：シングルも泣く4番ホール)

アウトコースの一番高台にあり、高知市内及び浦戸湾を一望しながら雄大な土佐湾を望むことが出来る素晴らしいロケーションとは裏腹に、大叩きをして最も気持ちが沈むホールでもある。また、グリーンは断崖絶壁の上に造られており、各ショットに正確性が強く求められるホールとなっている。

ティーショットは前方に出来るだけ飛ばしたいが、IP地点のすぐ前には松の木があり、右サイドにはバンカーを配置しており縦・横の正確性と判断力が試される。また、ティーショットの距離を稼ぐよりも正確性を重視し刻んだとしても、セカンドショットが谷越えとなり、ショットのリスクが常に付きまとう難ホールとなっている。

挑戦意欲と大叩きをしたくないという感情の狭間で、プレーヤーはショットの選択肢を探らねばならないので、景色を楽しむ余裕はないかもしれない。



〈事務局からのお知らせ〉

◆新シリーズ「わがコースの名物ホール」

加盟倶楽部のご協力を得て、シリーズ「倶楽部コースのご紹介」を続けてきましたが、全60倶楽部のご寄稿を頂き、前回をもって終了しました。新しいシリーズとして「わがコースの名物ホール」を今回から始めます。

引き続きご協力をお願いします。

◆加盟倶楽部の入場者数(平成26年度)

平成26年度年間入場者数は2,221,857人で対前年24,057人の減となりました。冬場の降雪や週末毎の台風など天候に左右された1年ではありましたが、今年に入ってから2月までの累計で対前年105%、この勢いが続くことを願っています。

◆グランドシニア会春季大会のお知らせ

5月12日(火) エリエールゴルフクラブ(香川県)で開催します。香川県幹事の松岡孝雄さんにお世話をいただきました。このコースは今年の四国グランドシニアゴルフ選手権競技の開催クラブでもあります。

初めての方も含め、ふるってご参加下さい。新規会員のご入会は所属倶楽部を通じてお願いします。特に女性の方のご参加は大歓迎です。(これは内緒ですが、女性の方には賞品が不思議と当たります。)